

市史編さんだより 創刊号

『新三木市史(仮称)』編さん事業本格スタート

三木市では平成26年度より市史編さん担当を設け、新しい市史編さん事業の準備を続けてきましたが、このたび平成27年4月1日付で教育委員会教育企画部文化スポーツ振興課に「市史編さんグループ」が設けられ、本格的に市史編さん事業がスタートします。今回の市史編さん事業は、昭和45年に『三木市史』、『吉川町誌』が刊行されて以来、約45年ぶりのこととなります。

◆今だからこそ「地域の歴史」を

三木市では『三木市史』、『吉川町誌』の刊行以来、新たな資料の発見や調査の進展などにより、地域に関わる歴史の見直しが必要とされてきましたが、地域の歴史を全体としてまとめる機会を持てずにいました。一方でこの約半世紀の間、三木市と吉川町の合併をはじめ、地域の様子も大きく変化しています。三木市は昨年に市制60周年を迎えましたが、三木の自然や歴史、伝統文化をあらためて見直すことにより、三木の歴史遺産を後世へ伝え、これからのまちづくりに歴史と文化を活かしていくことが必要ではないかと考え、新しい市史の編さんに着手しました。

新しい市史の特色

これまでの『三木市史』、『吉川町誌』は、内容的にも各方面より高い評価を受けるものであり、新しい市史を編さんする際にも大いに参考とされるものですが、先人の業績を活かしつつ、新しい市史では以下のような特色を盛り込んだものとする予定です。

◆神戸大学との連携による学術的水準の高い市史

三木市は平成25年に神戸大学と包括連携協定を締結しましたが、市史編さん事業はその一環として神戸大学との連携が進められます。大学との連携により、歴史（考古・古代・中世・近世・近代・現代）、自然、地理、文化財などの各分野の最新の成果を盛り込みつつ、内容的に高い学術的水準を保った「本編」と「資料編」からなる「通史編」を刊行する予定です。

◆みなさんが主役となる「地域編」の刊行

新しい市史のコンセプトは「住民参加による自治体史編さん事業」です。そのため「通史編」のほかに地域の住民のみなさんに編さんに関わっていただく「地域編」を刊行します。「地域編」では内容の決定や調査など、市史の作成過程で各地域にお住まいのみなさんにご参加いただく予定です。実際の編さん作業にあたっては市史編さんグループでお手伝いをいたしますが、主役はあくまでも住民のみなさんご自身です！

市史編さんグループでは、「地域編」のあり方について鋭意検討を行なっているところです。多くの方のご参加をお待ちしております！

◆「地域に生きた人びと」を視点に据えた歴史

新しい市史では広い視野から三木の歴史をとらえていくことが重要であり、その際に大切なのは、現在に続く三木の歴史は、三木の地に暮らしてきた人びとによって創られてきたものであるという視点を持つことです。新しい市史では「通史編」、「地域編」とともに、三木の歴史の全体像をまとめるに際し、「地域に生きた人びと」を視点に据えた歴史として描きたいと考えています。

三木の古い資料や写真はありますか？

市史編さんグループでは、三木の歴史について幅広く調査を行なっています。以下のような古い資料・写真などお持ちでしたらお知らせください。

- ◆くずした文字で書かれた帳面や一枚ものの文書などの古文書
- ◆和紙に書かれた冊子などの古い本
- ◆明治・大正・昭和の古いノートや記録(日記・手紙など)
- ◆三木市域の古い写真、絵画、映像など
- ◆自治会などの団体、地域でのグループ活動などの記録や資料
- ◆古いふすまや屏風(古文書が下貼りに使われていることがよくあります)

これらはふだん開けたことがないような古いタンスや箱などに納められていたり、ホコリをかぶってシワシワになったりしているため、相続・引っ越し・建てかえ・災害などの際に、捨てられることが多いようです。

有名人の記録だけが歴史の資料になるわけではありません。家族・学校・職場・町内会などさまざまな地域活動の記録は、三木のあゆみを記録したかけがえのない地域の財産です。市史編さんグループでは、これらの資料などを地域の財産として未来に伝えるため、市史編さん事業で活用していきたいと考えています。

「市史編さんだより」では 市史編さん事業の経過や情報をお知らせします

市史編さん事業は昨年度より準備作業を開始し、今年度から本格的に始動します。今年度中に事業全体の基本事項を調査・審議する「市史編さん委員会」を立ち上げ、次いで具体的な編集方針を審議する「専門委員会」、各分野・時代ごとの「専門部会」、地域編さんさんのための「地域編検討委員会」などを順次設置する予定です。事業経過の詳細については、次号以降の「市史編さんだより」で随時お伝えしていきます。

市史編さん日誌(平成26年4月～平成27年9月)

平成26年4月1日	市史編さん担当設置(企画管理部総務課)
平成26年4月～5月	県内自治体史編さん事業視察(香寺町、小野市、加西市、明石市、神戸市、尼崎市)
平成26年10月	県外自治体史編さん事業視察(長野県松本市・飯田市、新潟県長岡市)
平成27年1月20日	新三木市史編さん講演会「新しい市史編さんとまちづくり」開催
平成27年3月11日	緑が丘町公民館高齢者教室で市史講演
平成27年3月15日	「三木の歴史文化講演会」開催(主催:旧小河家別邸の保存と活用をする会)
平成27年4月1日	市史編さん事業が教育委員会へ移管。教育企画部文化スポーツ振興課に「市史編さんグループ」設置
平成27年5月～6月	教育委員会所蔵旧町村役場資料整理
平成27年6月～7月	岩崎利明氏所蔵文書整理
平成27年7月	教育委員会所蔵石田氏文書整理
平成27年7月10日	和泉市史編さん室視察(大阪府和泉市)
平成27年9月26日	シンポジウム「新三木市史に期待する」開催(主催:三木市、三木市教育委員会、神戸大学)

市史編さんだより 創刊号(平成27年9月26日発行)

編集:三木市教育委員会教育企画部文化スポーツ振興課 市史編さんグループ

発行:三木市教育委員会 〒673-0492 兵庫県三木市上の丸町10-30 電話:0794-82-2000 / FAX:0794-83-3699